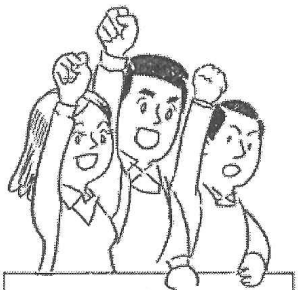
2016JR貨物労組春闘 全員参加の闘い！



16春闘は6000円のベースアップ要求を掲げ、ベア獲得・人材確保・格差是正を目指し、スケジュールと闘う体制づくりを明確にすることで取り組みました。

全国の全職場で全組合員が闘いに参加することを目的とした3月15日の「全国統一集会日」には、約60機関において職場集会や座談会等を開催しました。また、交渉状況を速やかに地方に伝えることで情報の共有化を図り、JR貨物労組が一体となった闘いを展開しました。

そして、ベースアップは断念しましたが、平成14年度入社の社員に1号俸引上げ等、様々なものをかち取ることができました。組合員からは「よくやった。うれしい」との声があがりました。また、生まれた差については「是正が必要である」という労使の共通認識を確認しました。

16春闘を精一杯取り組むことで、成果と課題が明確になりました。すべてを糧として受け止め、更なる組織的飛躍をかち取り、たしろかおる応援プロジェクト完遂に向けて前進しましょう。

近畿支部3．15総決起集会

ベア獲得の決意で！

北海道 今井 正 33歳
室蘭派出 分会執行委員

私は東室蘭連合分会で執行委員をしています。16春闘で私は総決起集会で連合分会を代表して決意表明をしました。JR貨物会社の要員問題は深刻であり、特に若手の人材流出に歯止めをかけるためにも今春闘でベア獲得は絶対に必要だと述べました。結果としてベア獲得は出来ませんでしたが賃金・諸要求の部分で大きな成果があったと思います。特に若手には非常に大きな結果でした。

室蘭支部とも連携して

しかし、取り組みの課題も見えてきました。マンネリ化した常駐体制です。室蘭支部は鷲別基地廃止により大幅に組合員数が減少したものの組合員の協力でなんとか春闘・手当の取り組みを行っています。今後も要員確保を訴えつつ、創意工夫した取り組みで現状を乗りきっていきたいと考えます。

職場の問題と春闘を結合した闘い

北郡山車両所 遠藤 慎 26歳
分会執行委員長

JR貨物労組郡山車両所分会では、16春闘において、本部交渉団の後押しができるように分会として目標を持って取り組みを行いました。

取り組みの継続と年度末効率化の団体交渉を結合した取り組みにしようと目標を立てました。職場があって初めて賃金についても取り組みを作れると思っているので、現在検修職場で行われようとしている効率化に対し、交渉しました。

しかし、春闘と結合した取り組みにするには難しく、特に大きな反省点として全国での統一した行動により、JR貨物労組の団結力を示す日である統一行動日が団体交渉と重なり、分会組合員と全国の仲間たちが歩調を合わせられなかったことがあります。

しかし、私たちにとって忘れられない日である3・11に支部として集会を開催した事はよかったと思っています。今後も分会の団結力の向上が組合員の幸せに繋がるので、しっかり取り組んでいきます。

若き絆で 明るい未来を！

海東 藤澤 孝介 26歳
愛知機関区 分会青年部長

2月に愛知機関区分会青年部を結成し、青年部長として初の取り組みがこの16春闘でした。その中で一番印象に残ったのは回答指定日に行った炊き出し・常駐です。

100人前を超えるカレーライスの準備は不安でしたが、前日から多くの仲間が駆けつけ、楽しく準備することができました。当日は朝から晩まで多くの青年部員が来てくれて、分会事務所は1日中盛り上がっていました。さらに、たしろ議員にも常駐に参加していただきました。FAXを書きながらみんなで交渉状況を見守った結果、若手に1号俸プラスという嬉しい報告を聞くことができました。

この春闘を通じて、青年部の団結や仲間の絆を感じることができました。この若き絆で明るい未来をつくっていけるよう、これからも全力で進んでいきたいと思います。

青年部として春闘のムードを創る！

西関 杉原 佳介 26歳
岡山機関区 支部青年部長

16春闘を岡山支部青年部は、今までとは違う取り組みを行って「春闘のムードを職場から創ろう」と常任委員会で議論しました。そして、2月14日に支部青年部第9回定期委員会を開催し、終了後にたしろかおる応援プロジェクトと結合した16春闘集会を開催し、情勢認識の一致と闘いの意思統一を図りました。どの機関よりも早く春闘のムードを創ることを目標とし、成果もありましたが、途中で息切れがあったのも事実です。16年連続ベアゼロ、期末手当の低額回答という中で、締めムードも感じました。

結果は、ベアはなかったものの、青年部員には1号俸引上げを取る事ができました。全組合員対象とならなかったことは組合員と議論し、今後全員への波及を追求しなければなりません。

将来の貨物労組を担うのは青年部員です。職場をよくするのは会社ではなく、私たち組合員です。「メシを食える会社」とするために、闘う組織を創るために、全青年部員が結集できる運動とするために、職場活動を軸に組織強化し、これからは自分自身が最先頭で闘っていきます。

3．15集会も開催

JR貨物グループ再編に対する闘い

ターナショナルの合併。②関西ロジと山陽ロジの合併。③北海道ロジと北海道Jロジの合併の3つの施策で、平成28年度4月1日実施の考え方が明らかになりました。このグループ再編問題は、単に当該単組だけの問題ではなくJR貨物本体の施策であり、また働く貨物労連組合員の生活に直結する問題であり、貨物労連として当該単組並びに全国ロジ協・関係する地域協議会議長で構成した「JR貨物グループ再編対策プロジェクト」を設置し、グループ会社で働く貨物労連組合員の仲間の雇用不安の解消に向けて、グループ会社における職場実態調査と内部の議論つくりを行ってきました。

また、この問題に対して①合併する根拠を明確にさせること。②合併は収益悪化による吸収合併であるので責任所在を明確にし、今後の展望を明らかにさせる。③合併後労働条件の切り下げはしないこと。④労働組合活動の保証させる方針を確定し、労連各単組の役員会や職場集会に参加し問題点や疑問点を抽出し、当該単組は当該会社に申し入れと団体交渉を行い組合員の雇用と生活を守るために奮闘してきました。その結果、FLとインターナショナル、関西ロジと山陽ロジの合併については、前進が図られたため、実施の決断をしました。しかし、北海道ロジと北海道Jロジの問題が残っていますので当該単組と連携していきます。また、合併後の検証もしっかり行い、問題点を洗い出して取り組んでいきます。

3月15日春闘決起集会を開催！大成功！！

東関 松尾 崇史 41歳
新潟貨物ターミナル 支部執行委員長

私たち新潟支部では、16春闘を各分会と連携して、職場集会や春闘決起集会など様々な取り組みを行ってきました。特に3月15日の統一行動日には、支部主催の春闘決起集会を数年ぶりに開催し、各分会・支部青年部の協力により多くの組合員が参加しました。支部執行委員の司会進行と、支部書記長による基調報告はいずれも初めて行うとの事もあり、どう進めるか直前まで苦戦していましたが、上手くまとめることができたと思います。

続いて、たしろかおる議員のDVDを観て、これまでの国会での活躍とたしろかおる議員の重要性を再認識して集会を終えました。

反省点も残りましたが、今後も支部・分会と連携して様々な取り組みを行い、たしろかおる応援プロジェクト完遂に向けて全力で取り組みを行っていきます。

3．15決起集会

工夫した闘い！ フットサルで団結強化！

九州 橋本 晶 42歳
鳥栖総合鉄道部 分会執行委員長

佐賀地区分会は3月9日の職場集会を皮切りに官製春闘を傍観するのではなく、春闘の火を消さない姿勢を九州の地から創り上げてきました。

3月15日の統一行動日には、現場長要請行動を行った後に、ベアゼロ16年の壁を破るべく福岡分会と共にフットサルを行いました。本部青年部から八文字副青年部長も駆けつけていただきました。佐賀地区分会VS福岡分会で3試合行い、全員想像以上に動かない体に鞭を打って全力でプレーし、団結を深めました。

回答指定日には、常駐体制をとり中央本部のたたかいを支えました。今回は青年部員に1号俸の実質のベアを勝ち取ることができましたが、全組合員に波及させなければなりません。来年こそその壁を打ち破るべく更に団結を深めていきます。

フットサルで団結！